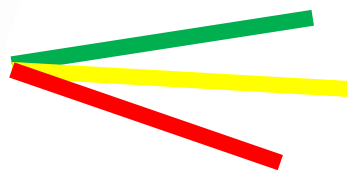


自分の研究を 伝える 伝わる ポスター発表



鹿児島県立国分高等学校

※ この資料の作成に関しては、東京海洋大学 柴田 恭幸 先生にご指導をいただきました。

ポスター発表の準備

1. 3つの準備

- ① 発表資料 (ポスター)
- ② 発表原稿 (スピーチ原稿)
- ③ 想定質問 (質疑応答原稿)

※ 研究をより良く理解してもらうためには、入念な準備が重要です。

2. 発表原稿の作成

- ① 発表原稿を用いた練習が良いプレゼンへの近道
- ② 基本は「起→承→転→結」
- ③ 1分、3分、5分、10分以上の原稿を作る。
 - コツとしては、短くなればなるほど、重要なポイントに絞る。
 - 長くなるにつれて、重要な順に内容をつけたし。
 - 時間制限がある場合、長すぎると質問できない。(聴衆は興味あるところをさっさと聞きたい。)

3. 想定質問と回答の作成

- ① 予想される質問を考える。(発表会での経験も大事)
 - 一般の高校生からの質問 → 基本的なこと
 - 少し詳しい人からの質問 → 実験方法, 結果, 考察
 - 研究者からの質問 → 厳しい質問
- ② 一般的な質問
 - この研究のポイントは?
 - この研究を始めた動機は何?
 - この研究の目的は何?
 - 今後のこの研究の展望は?
 - この研究で一番苦労した点は何?
 - この研究で工夫した点は何?

準備していない質問があるかもしれません。そのときどのように答えるかが大切です。



②発表原稿の作成
こんにちは。鹿児島県立国分高等学校サイエンス部物理班です。今から「○○○」の発表を行います。...

③想定質問の作成
○この研究のポイントは? → この研究の一番のポイントは...です。
○先行研究はありますか? → はいあります。...のような先行研究があります。

④練習
練習はたくさん行う。多くの人に見てもらうことが大事!



⑤発表

ポスター発表で大切なこと

1. ポスター発表の特徴

	ポスター発表	オーラル(口頭)発表
発表会場	聞き手との距離が近く、1つの会場で、同時に多数の発表	聞き手との距離が遠く、1つの会場で、一つの発表
発表者	聞き手と意見交換をしながら発表	一方的に発表した後、質疑応答
聞き手	会場内を自由に移動し、興味のある発表を聴く	会場間を移動して、着席して聴く
メリット	何度も発表できる。聞き手に応じて、工夫できる。	一度に多数の聞き手に伝えることができる。

2. 質問に対する答え方

- ① Yes, Noがはっきりする質問に対して Yes, Noをはっきりと答える。そのあと、理由をわかりやすく説明する。
- ② 解答がわからない質問に対して 「考えたことがなかったので、今後調査を試みたいと思います。」 「勉強不足でした。今後の課題といたします。」
- ③ 質問の内容がよくわからなかったとき 「申し訳ございません。もう一度ご質問をお願いします。」
- ④ 自分の研究に自信を持ち、堂々と答える。
- ⑤ 笑顔で、楽しそうに答える。質問は自分の研究を相手に深く伝えるチャンスです。

3. ポスター発表のポイント

発表の最初と最後に、必ず挨拶をする。

見て欲しいところを、指し棒で指しながら発表する。

発表中に原稿やメモを見ない！

誠意を持って、丁寧に説明する！

大きな声で、明るく発表する！

自信を持って堂々と発表する。

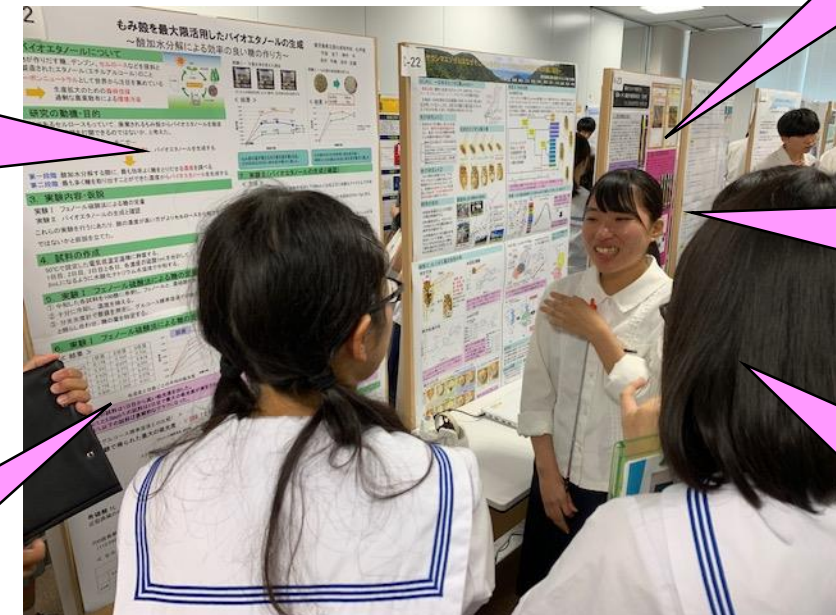
笑顔で、楽しそうに発表する！

聞き手の反応を見ながら発表する。

身振り、手振りも大切！

聞き手の方を見ながら発表する。

最後に「質問はありませんか」と聞く。



※実験サンプルを使ったり、タブレット等で実験等の動画を見てもらうと、聞き手に伝わる！

発表ポスターができてから、発表まで

1. 発表ポスターの確認をしよう！

- ① 文字や文章，表の数値等に間違いはないか？
- ② 図や写真，文字等が全て印字されているか？途中で切れていないか？
- ③ 何かを非難する内容になっていないか？
- ④ 引用した内容は正しいか？
- ⑤ 参考文献等の書き方に間違いはないか？インターネットの資料を引用するときは，URLのみはよくない。
- ⑥ 文字のサイズや色は適切か？文字が多すぎないか？
- ⑦ 研究の目的，仮説の答えになっているか？論理的な破綻はないか？

※ ポスターができあがったら，班の全員で隅々まで何度も確認することが大切です。

2. ポスター発表の練習

- ① 発表原稿を作成し，自分たちの考えを整理する。1分、3分、5分、10分以上の原稿を作る。
- ② 質疑応答のための原稿，資料を準備する。質疑応答の内容もとても大事！
- ③ 発表の役割分担をする。ただし，班の誰でも発表できるように全員で練習しよう。全員が発表の主役です。
- ④ 発表練習の様子を動画で撮影し，良かった点，悪かった点を確認しよう。気になるクセはないか？
- ⑤ 発表を多くの人に見てもらおう。同級生や先輩，後輩，先生等に発表を見せて，助言してもらおう。自分たちの家族に見てもらっても良い練習になります。
 - 笑顔で，明るく，大きな声で発表できているか？
 - 発表原稿を見ないで発表できるか。聴く人をしっかり見て発表しているか？

3. 発表者の注意点

- ① 発表する前後は，必ず挨拶をする。発表者の名前，研究班名，研究テーマを伝える。
- ② 発表ポスターではなく，聴く人に向かって発表する。
- ③ 自信を持って，堂々と，元気よく，笑顔で発表する。
- ④ 発表中は，自分が発表していなくても聴く人を向く。自分も発表をしているつもりで。
- ⑤ 指示棒等で見て欲しいところを指しながら発表する。
- ⑥ 「何か質問はありませんか？」と発表者から聞く。



4. 聴く人の注意点

- ① 謙虚な姿勢で聴く。聞かせてもらっているという姿勢で聴く。
- ② 疑問点等を質問する。(自分の研究・発表の参考になる点が聞けるかもしれませんが。発表者を困らせるような質問はよくありません)
- ③ 最後に必ず「ありがとうございました。」等のお礼を言う。